

RE:NISSAN

# 2025年度第3四半期 決算報告

2026年2月12日



# ■ 実績サマリー



## 販売実績

- 厳しい市場環境において、第3四半期の販売は苦戦
- 米国では小売販売を重視し、フリート販売比を減少させたことにより、市場シェアが安定
- 日本と欧州では、弱含みの需要と競争激化の影響を受けた
- 中国は新型の新エネルギー車（NEV）の投入により、2025暦年で堅調に推移
- 第3四半期に投入した新型車により勢いを増していく

## 財務実績

- 第3四半期の営業利益は175億円となり、コスト削減が関税影響を吸収
- 各取り組みを厳格に実行し、固定費を削減（累計1,600億円超）
- 第2四半期比でフリーキャッシュフローが改善。運転資金の規律ある管理を継続
- Re:Nissan における資産の最適化の取り組みにより、ネットキャッシュは1兆円レベルを維持

## 見通し

- 通期のグローバル販売台数の見通しは320万台に修正。第4四半期は力強い着地を見込む
- Re:Nissan の着実な進捗により、2025年度の営業損失を600億円まで圧縮
- 下期の自動車事業フリーキャッシュフローはプラスに転じる見通し
- Re:Nissan の取り組みは着実に進捗

# ■ Re:Nissanの進捗



# 変動費 - 決定と実行

5,150 件のアイデアを  
創出

～2,400億円 想定効果額

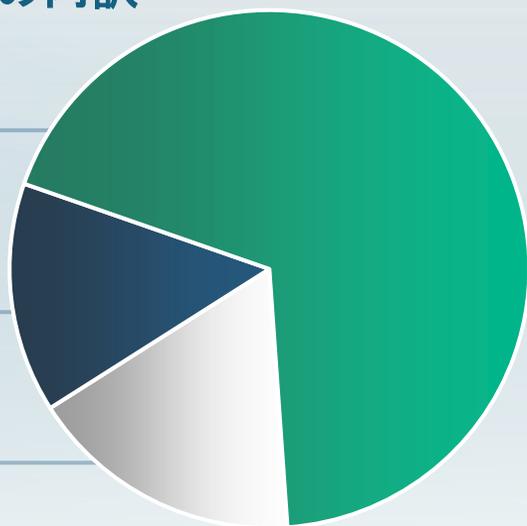
## TdC (Total delivered Cost) の進捗

### ソリューションの内訳

技術開発  
3,530

生産・物流  
740

その他 効率化  
880



### 実行に向けた進捗

■ アイデア段階 ■ 検証段階 ■ 実行段階



# 固定費・その他 - 実行中の取り組み

## 規律あるコストマネジメントと効率化



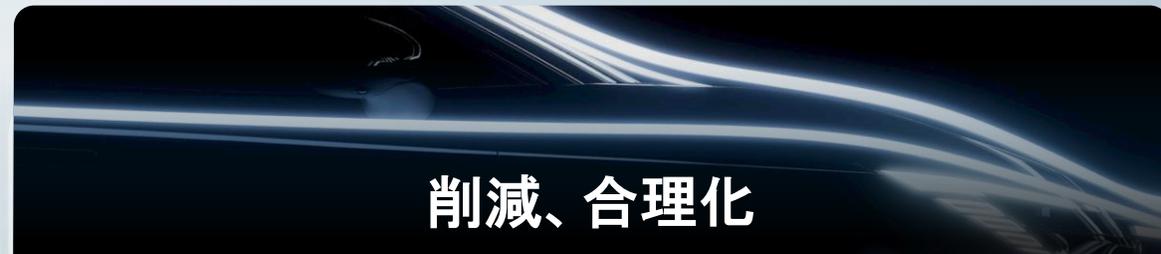
### 生産の再編

10か月で  
7つの生産拠点について発表

#### 7. ロスリン工場 南アフリカ

生産資産の売却を合意

1. アルゼンチン工場
2. RNAIPL, インド工場
3. 追浜工場
4. 日産車体湘南工場
5. シバック工場
6. COMPAS(コンパス)工場



### 削減、合理化

バリューチェーン全体を精査

25年度第3四半期累計

**1,600億円** 以上の固定費を削減  
(上期:800億円)

具体的な取り組み

- 外部委託、マーケティング費用の効率化、シェアードサービスの活用促進が着実に進捗
- エンジニアリングコスト（時間当たり労務費）は、目標の20%削減に対して、15%まで進捗
- グローバル人員体制の最適化も着実に進捗

# ■ 継続的で確実な商品計画

RE:NISSAN

日本 | リーフ

約 **5,000** 台  
1 月末時点受注台数



北米カーオブザイヤー  
ユーティリティ部門ファイナ  
リスト

中国 | ティアナ ファーウェイ

**10,000** 台  
発売後1カ月  
受注台数

日本 | ルークス

> **40,000** 台  
発売後累計受注台数

RJC カーオブザイヤー  
グッドデザイン賞

米国 | セントラ

**7,900** 台  
1 月販売台数  
(対前年比30%増加)

北米カーオブザイヤー  
ファイナリスト



# ■ 継続的で確実な商品計画

RE:NISSAN



## 日本 | エルグランド

最新の電動パワートレイン  
を  
搭載する4代目



## 米国 | QX65

スマーナ工場生産  
インフィニティブランドの自信と将来を示す



## グローバル | フロンティア プロ プラグインハイブリッド

中国で開発し、グローバルに輸出する  
初のピックアップトラック



## インド | グラバイト

インドのお客さまのためにインドで  
生産する7シーターBセグメントMPV



## オーストラリア | ナバラ

先進運転支援システムと、オセアニア市場向け  
に  
最適化したサスペンションを採用



## 中国 | N6

東風日産独自の新しいエネルギー車技術を  
採用した初のプラグインハイブリッドセダン

# RE:NISSAN



本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。